# 取扱説明書

# FlexScan<sup>®</sup> EV2313W-B EV2333W bp-жаналар

# 重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説明書およびセットアップガイド をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- ・最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。 http://www.eizo.co.jp



# 【警告表示位置】

FlexStand(フレックススタンド)例



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、 この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

また、製品の付属品 (ケーブル含む) や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準 に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満 足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JISC 61000-3-2 に適合しております。

本製品は、オフィス機器の安全性、エルゴノミクス、環境等に関する TCO 規格を取得しています。 規格の概要は当社のホームページからご覧いただくことができます。 http://www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

Copyright © 2009-2013 株式会社ナナオ All rights reserved.

- 1.本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の 許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も 負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Macintoch は Apple Inc. の登録商標です。 Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 DisplayPort アイコン、VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国に おける登録商標または商標です。 EIZO ScreenSlicer は株式会社ナナオの商標です。EIZO、EIZO ロゴ、FlexScan、ScreenManager は株 式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。 その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。



# モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。 This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いた します。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30 分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお すすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用して ください。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。 (次ページ「クリーニングのしかた」参照)

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合が ありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しな くなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起 こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきま すと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、 画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの(ペン先、ピンセット)などで押したり、こすったりしないように してください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますの でご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が 生じることがあります(結露)。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちく ださい。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

#### 注意点

溶剤や薬品(シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど)は、キャビネット
 や液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

#### 参考

・液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner (オプション品) をご利用いただくことをおすすめします。

# 液晶パネル面

- ・汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- ・落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

# キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

# モニターを快適にご使用いただくために

- ・ 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画 面の明るさを調整してください。
- ・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

# もくじ

表紙1	2-8 モニターの電源を自動的にオフにする
モニターについて3	[オフタイマー]24
	2-9 モニターの自動明るさ調整のオン / オフを 切りまえる 「Auto Ecol/iow」 24
6 <c< th=""><th>切り皆える [Auto Ecoview]</th></c<>	切り皆える [Auto Ecoview]
第1章 特長と概要7	2 - 10 離席時に省電刀モードに移行する [EcoView Sense]25
1-1 姓尼 7	●オン / オフを切り替える
	●検知レベルを変更する
1-2 各部の名称と機能9	2 - 11 省電力の度合いを示すインジケータの表示 /
1‐3 表示解像度10	非表示を切り替える [EcoView Index]26
1‐4 機能一覧と調整メニュー基本操作方法11	2‐12 表示サイズを切り替える26
第2章 設定と調整をする15	●表示サイズを切り替える [拡大モード]
	● 画像の非表示部分の明るさを変える 「ボーダー」 27
Z-I ユーティリティティスクについてIS ●ディスクの内容と概要 15	[小 / ]2/
<ul> <li>Jイスクの内谷と祝安IS</li> <li>ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI) /EIZO</li> </ul>	2-15 調査メニューの表示を改更する
ScreenSlicer を使用するときは15	[メニューサイズ/メニューポジション/
2‐2 画面の調整をする16	メニューオフタイマー / 半透明 ]
デジタル信号入力の場合16	2‐14 設置方向を設定する28
アナログ信号入力の場合16	●調整メニューの向きを設定する [ 設置方向 ] 28
2-3 カラー調整をする	2‐15 操作ボタンをロックする28
●表示モート (FineContrast (ファインコントラスト) モード)を選ぶ	2-16 モニター情報を表示する
●詳細な調整をする	[インフォメーション]29
●各モードの調整項目20	2 - 17 DDC/Cl 通信の有効 / 無効を切り替える29
<ul> <li>●ブライトネス(明るさ)を調整する</li> <li>「ゴニィトラス]</li> <li>20</li> </ul>	2‐18 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える
<ul> <li>□ントラストを調整する「コントラスト]</li></ul>	[電源ランプ]29
●色温度を調整する[色温度]21	2‐19 表示言語を設定する [言語選択]29
●ガンマを調整する [ガンマ]	2‐20 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える30
<ul> <li>●色の濃さを調整する [色の濃さ]</li> <li>● 色合いた調整する [色合い]</li> <li>22</li> </ul>	2‐21 お買い上げ時の設定に戻す [リセット]30
<ul> <li>● どうじんを調査する[どうじ)</li></ul>	●カラー調整値をリセットする
●オーバードライブの強さを設定する	●すべての設定内容をリセットする
[オーバードライブ]22	第3章 接続する31
2‐4 音量を調整する [音量]22	3-1 2台以上のコンピュータを接続する
2 - 5 DisplayPort 信号入力時の音源を切り替える	<ul> <li>入力信号を切り替える</li></ul>
[音源]23	●入力信号の切替方法を設定する [ 入力信号 ] 32
2-6 省電力モード時の音声出力のオン / オフを切り	第4章 こんなときは
督える [ハリーセーフ]	
2-7 モニターの省電力モードのオン / オフを切り 株さる「パローセーブ」 22	
百んる [ハワーセーノ]	

# もくじ

第5章	ご参考に
5 - 1	オプションアーム取付方法36
5 - 2	FlexStand(フレックススタンド) 取付方法38
5 - 3	TriStand(トライスタンド)取付方法39
5 - 4	TriStand(トライスタンド)収納方法40
5 - 5	仕様42
5 - 6	用語集49
5 - 7	プリセットタイミング51
第6章	アフターサービス

••••••

.

# 第1章 特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- 1-1 特長
- ・23型ワイド画面
- ・解像度 1920 × 1080 対応
- 省電力機能

消費電力<sup>※1</sup>を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。 本機は省電力のためのさまざまな機能を搭載しています。

- 主電源オフ時消費電力 0W 主電源スイッチを装備。 モニターを使用しない時は、主電源スイッチをオフにすることで、確実に電源供給が停止します。
- 待機電力 0.1W 以下 電源ボタンオフ時の待機電力は、0.1W 以下を実現しています。
- LED バックライト液晶パネル搭載 (EV2313W-B のみ) 従来の蛍光管バックライト液晶パネルと比較して電力効率が高く、消費電力<sup>※1</sup>が抑えられます。 また、有害物質である水銀を含有していません。
- Auto EcoView 機能 モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
   不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担 を軽減します。
   2-9 モニターの自動明るさ調整のオン / オフを切り替える [Auto EcoView] (P24) 参照
- EcoView Sense 機能
   モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、自動的に省電力モードに移行して 画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。
   2-10 離席時に省電力モードに移行する [EcoView Sense] (P25)参照
- EcoView Index 機能搭載
   モニターの輝度に応じた省電力の度合いを、緑のインジケータで示します。
   省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。
   2-11 省電力の度合いを示すインジケータの表示 / 非表示を切り替える [EcoView Index] (P26)参照
- ・調光制御による輝度安定

広範囲な輝度調整に対応 (EV2313W-B:2 ~ 100%、EV2333W:20 ~ 100%)。 最低輝度まで下げても安定した正確な表示を保ちます。極端な暗所での使用に際しても、目に優しい快適な輝度に 調整が可能です。

・FineContrast(ファインコントラスト)機能搭載

2-3 表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード)を選ぶ(P19)参照

- DisplayPort 対応(8bit 対応)<sup>※2</sup>
   映像信号と音声信号を、一本の DisplayPort ケーブル(オプション)で伝送できます。
- ・縦型表示対応
- ・マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)」添付 2-1 ユーティリティディスクについて (P15) 参照
- ・著作権保護技術 HDCP 対応
- ・スピーカー、ヘッドホンジャック装備

1-2 各部の名称と機能(P9)参照

・オーバードライブ機能搭載 2-3 オーバードライブの強さを設定する[オーバードライブ](P22)参照

- <sup>※1</sup> 参考値
  - EV2313W-B 最大消費電力 32W(輝度最大、製品初期値) 標準消費電力 16W(輝度 120cd/m<sup>2</sup>、製品初期値)
  - EV2333W 最大消費電力 42W(輝度最大、製品初期値) 標準消費電力 25W(輝度 120cd/m<sup>2</sup>、製品初期値)
- \*2 DisplayPort ケーブルを使って音声信号を伝送する場合、ご使用のグラフィックスボードが、音声出力に 対応している必要があります。(「5-5仕様」P42参照)

- ・本機はモニターの縦型表示に対応しています。縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができま す(「調整メニューの向きを設定する[設置方向]」P28 参照)。
- モニターを縦型表示するためには、縦型表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦型表示にした場合、 ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参 照してください。
- ・本機はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(またはオプションスタンド)に取り付けることが 可能になります(「5-1オプションアーム取付方法」P36参照)。

# 1-2 各部の名称と機能

FlexStand(フレックススタンド)例



1	EcoView Sense センサー	モニター正面の人の動きを検知します。 EcoView Sense (エコビューセンス) 機能 (P25)
2	Auto EcoView センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView(オートエコビュー)機能(P24)
3	EcoView ボタン	省電力機能 (Auto EcoView (オートエコビュー) 、EcoView Sense (エコビューセンス) EcoView Index (エコビューインデックス))の設定画面を表示します。 (P24、P25、 P26)
4	入力切替ボタン	2 台以上のコンピュータを接続している場合に、表示する入力信号を切り替えます。 (P32)
5	エンターボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。 (P14)
6	コントロールボタン (左、下、上、右)	<ul> <li>・調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を 増減します。(P14)</li> <li>・ ④または ●ボタン: FineContrast (ファインコントラスト) モードを切り替え ます。(P19)</li> <li>・ ▼または ▲ボタン: ブライトネス(明るさ) および音量の調整画面を表示します。</li> </ul>
<u> </u>		
/	「電源ホタン	電源のオン/オノを切り替えより。
8	│電源ランフ │	モニターの動作状態を表します。    青:画面表示    橙:省電力モード   消灯:主電源スイッチ / 電源ボタンオフ
9	主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。
10	電源コネクタ	電源コードを接続します。
11	信号入力コネクタ	左:DisplayPort コネクタ / 中:DVI-D コネクタ / 右:D-Sub15 ピン(ミニ)コネクタ
12	ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
13	盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
14	スタンド	高さと角度が調整できます。
15	ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。
16	スピーカー	音声を再生します。
17	ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。

\* ScreenManager® は当社調整メニューのニックネームです。使用方法は、P11 を参照してください。

# 1-3 表示解像度

本機は以下の解像度に対応しています。

# アナログ信号(D-Sub)入力時

解像度	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480 (VGA, VESA)	~75 Hz	
720  imes 400 (VGA TEXT)	70 Hz	
$800 \times 600$ (VESA)	~75 Hz	
$1024 \times 768$ (VESA)	~75 Hz	
1152 × 864 (VESA)	75 Hz	
$1280 \times 960$ (VESA)	60 Hz	146.3 MHZ(嵌入)
$1280 \times 1024$ (VESA)	~75 Hz	
1280 × 720 (CEA-861)	60 Hz	
1680 $ imes$ 1050 (VESA CVT, VESA CVT RB)	60 Hz	
* 1920 × 1080 (CEA-861)	60 Hz	

# デジタル信号(DVI-D)入力時

解像度	垂直周波数	ドットクロック
$640 \times 480$ (VGA)	60 Hz	
$720 \times 400$ (VGA TEXT)	70 Hz	
$800 \times 600$ (VESA)	60 Hz	
$1024 \times 768$ (VESA)	60 Hz	
$1280 \times 960$ (VESA)	60 Hz	148.5 MHz(最大)
$1280 \times 1024$ (VESA)	60 Hz	
1280 × 720 (CEA-861)	60 Hz	
1680 $\times$ 1050 (VESA CVT, VESA CVT RB)	60 Hz	
* 1920 × 1080 (CEA-861)	60 Hz	

# デジタル信号(DisplayPort)入力時

解像度	垂直周波数	ドットクロック
640  imes 480  (VGA, CEA)	60 Hz	
$720 \times 400$ (VGA TEXT)	70 Hz	
720 × 480 (4:3) (CEA)	60 Hz	
720 × 480 (16:9) (CEA)	60 Hz	
$800 \times 600$ (VESA)	60 Hz	
$1024 \times 768$ (VESA)	60 Hz	148.5 MHz(最大)
$1280 \times 960$ (VESA)	60 Hz	
$1280 \times 1024$ (VESA)	60 Hz	
1280 × 720 (CEA-861, CEA)	60 Hz	
$1680 \times 1050$ (VESA CVT, VESA CVT RB)	60 Hz	
* 1920 × 1080 (CEA-861)	60 Hz	

VESA 規格および CEA-861 規格に準拠したグラフィックスボードをご使用ください。

\* 推奨解像度です。(この解像度に設定してお使いください。)

# 画面・カラーを調整したいときは

(●) メインメニュー(操作方法は P14 参照)





アナログ信号入力の場合のみ

# 消費電力を抑えて使いたいときは

# ● メインメニュー(操作方法は P14 参照)

[アナログ信号入力時]



# 便利な設定や調整をしたいときは

# ● メインメニュー(操作方法は P14 参照)

[アナログ信号入力時]



# 調整メニューの基本操作方法

## [調整メニューの表示と機能の選択]

- (1) 操作ボタンの () を押します。メインメニューが表示されます。
- (2) 操作ボタンの ▲ / (▼ / (▲ / (▶) で機能を選択し、(●を押します。サブメニューが表示されます。
- (3) 操作ボタンの ▲ / (▼ / ④ / で機能を選択し、 ●を押します。調整 / 設定メニューが表示されます。
- (4) 操作ボタンの ▲ / ▼ / / で調整し、 ●を押します。設定が確定します。

#### [調整メニューの終了]

- (1) サブメニューで<リターン>を選択し、 ●を押します。メインメニューが表示されます。
- (2) メインメニューで<メニューオフ>を選択し、●を押します。調整メニューが終了します。

- ・
   (
   ・
   )をすばやく続けて2回押しても調整メニューを終了させることができます。
- ・メインメニュー / サブメニューで(▼)を2回押しても<メニューオフ> / <リターン>を選択することができます。

# 第2章 設定と調整をする

# 2-1 ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」(CD-ROM)が付属しています。ディスクの内容やソフトウェ アの概要は、下記を参照してください。

# ● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディ スク内の Readmeja.txt を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txt ファイル		0	0
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整す る際に役立つパターン集です。	0	0
ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)	マウスやキーボードを使って画面を調整 するソフトウェアです。	0	-
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効 率よく配置するソフトウェアです。	0	-
モニターの取扱説明書(PDF ファイル)		0	0

# ● ScreenManager Pro for LCD(DDC/CI)/EIZO ScreenSlicer を使用するときは

ScreenManager Pro for LCD(DDC/CI)/EIZOScreenSlicer のインストール方法、使用方法については、ディ スク内のそれぞれの取扱説明書を参照してください。

# 2-2 画面の調整をする

# デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく 表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、手順6の「文字や線 のぼやけを直す [スムージング]」にお進みください。

さらに詳細な調整をおこなう場合は「2 - 3 カラー調整をする(P19)」 以降を参照してください。

# アナログ信号入力の場合

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちら つきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのもので す。

以下の場合にはセルフアジャスト機能が働きます。

- ・モニターに初めて信号を入力した場合
- これまでに表示したことのない解像度や垂直周波数、水平周波数
   に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快 適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をし てください。

## [調整手順]

7 自動調整をします。

- 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する
   [ピクチャー調整]
- (1) <自動調整>メニューで<ピクチャー調整>を選択し、●を押します。

<自動調整>メニューが表示されます。

(2) ▲ または ▼ で「実行」を選択し、 ●を押します。
 自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

1の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順5の「色階調を自動調整する[レンジ調整]」にお進みください。

# 2 アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、 「画面調整パターン集」を開きます。 注意点

- ・調整はモニターの電源を入れて、 30 分以上経過してからおこなって ください。また、この間省電力モー ドに移行しないよう、EcoView Sense をオフにしておくことをお すすめします(「2 - 10 離席時に 省電力モードに移行する[EcoView Sense]」P25 参照)。
- ・解像度 800 × 600 (SVGA) 未満 の信号ではセルフアジャスト機能 は働きません。
- セルフアジャスト機能/自動画面 調整機能は画面の表示可能エリア 全体に画像が表示されている場合 に正しく動作します。次のような 場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画 面の一部にしか画像が表示され ていない場合
- 壁紙など背景を黒で使用してい る場合
- また、一部のグラフィックスボー ドで正しく動作しない場合があり ます。

#### 参考

 「画面調整パターン集」の開 きかたおよび内容については、 Readmeja.txt を参照してください。



調整範囲:0 ~ 63

(1) <ピクチャー調整>メニューで<フェーズ>を選択し、● を押します。

<フェーズ>メニューが表示されます。

(2) ● または ● で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、●を押します。

調整が完了します。



参考

- ・調整が合ったポイントを見逃しや すいので、コントロールボタンは ゆっくり押して調整するようにし てください。
- ・調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる[フェーズ]」にすすみ調整をおこなってください。

注意点 ・お使いのコンピュータやグラ フィックスボードによっては、完 全になくならないものがありま す。

参考
 ・調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す[クロック]」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)

# ● 表示位置のずれを直す [ポジション]

- (1) <ピクチャー調整>メニューで<ポジション>を選択し、
   を押します。
   <ポジション>メニューが表示されます。
- (2) 画像の位置が合うように ▲ / ▼ / / で調整し、 を 押します。

調整が完了します。



# 5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する [レンジ調整]

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調(0~255)を表示できるように調整できます。

(1)「画面調整パターン集」のパターン2を全画面に表示します。



- (2) <自動調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、を押します。
- (3) ▲ または ▼ で「実行」を選択し、 ●を押します。
   出力レンジが自動的に調整されます。
- (4) パターン2を閉じます。

# 6 文字や線のぼやけを直します。

#### 文字や線のぼやけを直す [スムージング]

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文 字や線がぼやけて見える場合があります。 調整範囲:1~5

- (1) 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューを選択し、●を押します。
- (2) <ピクチャー調整>メニューで<スムージング>を選択し、
   を押します。

<スムージング>メニューが表示されます。

(3) ● または ● で調整し、●を押します。
 設定が完了します。

#### 参考

 液晶モニターは画素数および画素 位置が固定であるため、画像の正 しい表示位置は1箇所です。ポジ ション調整とは画像を正しい位置 に移動するための調整です。

## 注意点

 表示解像度によってはスムージン グの設定をする必要はありません (スムージングアイコンを選択す ることはできません)。

# 2-3 カラー調整をする

# 表示モード(FineContrast(ファインコントラスト)モード) を選ぶ

FineContrast (ファインコントラスト)機能を使って、モニターの用途 に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

FineContrast (ファインコントラスト) モードの種類

モード	目的	
Custom	全ての設定値を変更することができます。	
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。	
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。	
Picture	写真やイラストなどの画像表示に適しています。	
Movie	動画の再生に適しています。	



(1) 🗨 または 🕑 を押します。

FineContrast(ファインコントラスト)モード名が画面左下に表示されます。

(2) モード名が表示されている間に、 ④ または ● を押してモードを切り替えます。

→ Custom ←→ sRGB ←→ Text ←→ Picture ←→ Movie ←

- 調整メニューと FineContrast (ファインコントラスト)モード 名を同時に表示させることはでき ません。
- ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)を使うと、使用する アプリケーションにあわせて、 FineContrast (ファインコントラ スト)モードが自動で切り替わ ります。(ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)の取扱説明書「第 3章オートファインコントラス ト」参照)

# ● 詳細な調整をする

FineContrast (ファインコントラスト) のモードごとに独立したカラー 調整の設定、保存ができます。

# ● 各モードの調整項目

FineContrast (ファインコントラスト) モードの種類により、調整できる機能が異なります。

○:調整可 一:調整不可

アイコン	操作力	FineContrast (ファインコントラスト) モー				モード
	173,86-13	Custom	sRGB	Text	Picture	Movie
Ò.	ブライトネス	0	0	0	0	0
•	コントラスト	0		0	0	$\bigcirc$
₿ĸ	色温度	0		0	0	$\bigcirc$
Ē	ガンマ	0	_	0	—	—
	色の濃さ	0		0	$\bigcirc$	$\bigcirc$
( <b>@</b> )	色合い	0		0	$\bigcirc$	$\bigcirc$
<b>P</b>	ゲイン	0				—
<b>OD</b>	オーバードライ ブ	0				
Ð	リセット	0	0	0	0	0

# ● ブライトネス(明るさ)を調整する [ブライトネス]

バックライト(液晶パネル背面の光源)の明るさを変化させて、画面の 明るさを調整します。

調整範囲:0~100%

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、●を押します。
- (2) <カラー>メニューで<ブライトネス>を選択し、●を押します。<ブライトネス>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、●を押します。
   調整が完了します。

# ● コントラストを調整する [コントラスト]

- ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。 調整範囲:0~100%
- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、(●)を押します。
- (2) <カラー>メニューで<コントラスト>を選択し、 を押します。 <コントラスト>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。 調整が完了します。

#### 注意点

- ・調整はモニターの電源を入れて、 30分以上経過してからおこなって ください。また、この間省電力モー ドに移行しないよう、EcoView Senseをオフにしておくことをお すすめします(「2 - 10離席時に 省電力モードに移行する[EcoView Sense]」P25 参照)。
- アナログ信号のカラー調整をおこ なうときは、最初にレンジ調整を おこなってください。(「色階調を 自動調整する」P18 参照)
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- ・「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)を使うと、マウスと キーボードの操作でカラー調整 をおこなうことができます。ま た、調整状態をカラーデータとし て保存し、読み込むこともできま す。(ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)の取扱説明書「第4章 カラー調整」参照)

参考

・ダイレクトメニューで調整することもできます(「1-4機能一覧と調整メニュー基本操作方法」P11参照)。

- ・50% で全ての色階調を表示しま す。
- ・画面の明るさは、はじめに、階調
   特性を損なうことのないブライト
   ネスで調整することをおすすめし
   ます。
  - コントラスト調整は以下のような 場合に使用してください。
- ブライトネスが 100% でも画面 が暗いと感じた時(コントラス トを 50% 以上に設定します)
- ブライトネスが 0% でも画面が 明るいと感じた時(コントラス トを 50%以下に設定します)

# ● 色温度を調整する [色温度]

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられる もので、K:Kelvin (ケルビン)という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っ ぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値 が設定されています。

5000K	やや赤みがかかった色です。印刷業界では一般的に
	5000K や 6500K が使われています。
6500K	暖色で紙色に近い色調で、写真やビデオ画像の表示に適
	した色調とされています。
9300K	やや青みがかかった白色です。

調整範囲:オフ、4000K ~ 10000K(500K 単位、9300K 含む)

(1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、④を押します。

- (2) <カラー>メニューで<色温度>を選択し、(●)を押します。<色温度>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。 調整が完了します。

# ● ガンマを調整する [ガンマ]

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変 化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そ のため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなう ことをガンマ補正といいます。

調整範囲:1.8、2.0、2.2

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、(●)を押します。
- (2) <カラー>メニューで<ガンマ>を選択し、 ●を押します。 <ガンマ>調整画面が表示されます。
- (3) (● または (▶) で調整し、(●) を押します。 調整が完了します。

#### ● 色の濃さを調整する [色の濃さ]

色の濃さを調整します。

調整範囲:-128~127

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、④を押します。
- (2) <カラー>メニューで<色の濃さ>を選択し、●を押します。
   <色の濃さ>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
   調整が完了します。

参考

- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト)モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モード の調整項目」P20参照)。
- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が 可能です(「ゲインを調整する[ゲ イン]」P22参照)。
- ・「オフ」でパネル本来の色(ゲイ ンの値は RGB 各 100%)になりま す。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度 は「オフ」になります。

#### 参考

 ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モード の調整項目」P20参照)。

#### 注意点

 本機能を使用することによって、 すべての色階調を表示できないこ とがあります。

- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モード の調整項目」P20 参照)。
- ・-128 で白黒の画面になります。

# ● 色合いを調整する [色合い]

色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くす ると紫がかった色になります。

調整範囲:-32~32

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 () を押します。
- (2) <カラー>メニューで<色合い>を選択し、●を押します。<色合い>調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。 調整が完了します。

# ● ゲインを調整する [ゲイン]

色を構成する赤・緑・青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これ を調整することで、「白」の色調を変更することができます。

調整範囲:0~100%

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 (●)を押します。
- (2) <カラー>メニューで<ゲイン>を選択し、●を押します。 <ゲイン>調整画面が表示されます。
- (3) 赤、緑、青それぞれの値を (④ または (▶) で調整し、(●) を押します。 調整が完了します。

## ● オーバードライブの強さを設定する [オーバードライブ]

モニターの用途に応じて、オーバードライブの強さを設定することがで きます。動画を表示する場合は、「強」にすることで、残像感を低減し ます。

設定範囲:強、普通、オフ

- (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、 (●)を押します。
- (2) <カラー>メニューで<オーバードライブ>を選択し、(●)を押します。
   <オーバードライブ>設定画面が表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で設定し、● を押します。 設定が完了します。

# 2-4 音量を調整する[音量]

- スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。 調整範囲:0~30
- (1) 調整メニューの<サウンド>メニューを選択し、(●)を押します。
- (2) <サウンド>メニューで<音量>を選択し、 を押します。 音量調整画面が表示されます。
- (3) または で調整し、● を押します。
   調整が完了します。

#### 注意点

- 本機能を使用することによって、 すべての色階調を表示できないこ とがあります。
- 参考
- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モードの調整項目」P20参照)。

#### 注意点

 本機能を使用することによって、 すべての色階調を表示できないこ とがあります。

参考

- ・選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モードの調整項目」P20参照)。
- ・色温度の値に応じてゲインの値が 変わります。
- ・ゲインの値を変更すると、色温度 は「オフ」になります。

#### 注意点

 ・以下の場合は、オーバードライブ 機能が無効になります。
 - 入力信号の垂直周波数が 60Hz 以外の場合
 - <拡大モード>で「ノーマル」

を選択している場合(表示解像度 が 1920 × 1080 のときを除く)

#### 参考

 選択している FineContrast (ファ インコントラスト) モードにより、 アイコンが表示されず、調整でき ない場合があります(「各モード の調整項目」P20 参照)。

- ・ダイレクトメニューで調整することもできます(「1-4 機能一覧と調整メニュー基本操作方法」P11参照)。
- DisplayPort とステレオミニ ジャックそれぞれの音量を、個別 に設定することができます。

選択し、 しまが完了します。		_/ Y / / ] ⁄č	
<ul> <li>2-6 省電力モード時に、ス フを切り替えがで、</li> <li>モニターの省電力モード時に、ス 出力する / しないの切り替えがで、</li> <li>(1) 調整メニューの&lt;サウンド&gt;メ</li> <li>(2) &lt;サウンド&gt;メニューで&lt;パ す。</li> <li>&lt;パワーセーブ&gt;設定画面が表示</li> <li>(3) ▲ または ▼ で「オン」また 設定が完了します。</li> </ul>	時の音声出力の る [パワーセー ピーカーまたはヘッドス きます。 ベニューを選択し、④ マーセーブ>を選択し、 されます。 は「オフ」を選択し、(	<b>オン / オ ブ]</b> <sup>は、から音声を を押します。 、 ・ を押しま ・</sup>	<ul> <li>参考</li> <li>入力信号と音源が DisplayPort の 場合、モニターの省電力モード時 に音声は出力されません。</li> </ul>
<ol> <li>2 - 7 モニターの省額 を切り替える</li> <li>コンピュータの状態と連動してモの切り替えができます。省電力モす。</li> <li>(1) 調整メニューの&lt; PowerManager &gt;メニュー ます。</li> <li>(2) &lt; PowerManager &gt;メニュー</li> </ol>	<b>電力モードのオ</b> [ <b>パワーセーブ</b> ] ニターを省電力モード( ードに移行すると画面を ager >メニューを選択 で<パワーセーブ>を	<b>ン / オフ</b> ] cする / しない を非表示にしま し、	
<ul> <li>&lt;パワーセーブ&gt;設定画面が表示</li> <li>(3) ▲ または ▼ で「オン」または</li> <li>設定が完了します。</li> </ul>	されます。 は「オフ」を選択し、(	●を押します。	注意点
「VESA DPM」に準拠しています。 [ <b>節電の流れ</b> ]			・ 王電源スイックをオフにするが、 電源プラグを抜くことで、確実に モニター本体への電源供給は停止 します。
コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ	<ul> <li>ステレオミニジャックケーブルが</li> </ul>
オン	オペレーションモード	青	接続されている場合も消費電力は
節電モード スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	橙	変化します。

#### DisplayPort 信号入力時の音源を切り 2 - 5 替える [音源]

DisplayPort 信号入力時の音源を切り替えます。DisplayPort/ステレオ ミニジャックが選択できます。

- (1) 調整メニューの<サウンド>メニューを選択し、 ()を押します。
- (2) <サウンド>メニューで<音源>を選択し、 ●を押します。 音源設定画面が表示されます。

参考 • DisplayPort 信号入力の場合に変 更できます。

# ■ デジタル信号入力の場合

・DVI 信号入力時

「DVI DMPM」に準拠しています。

・DisplayPort 信号入力時

「DisplayPort Standard V1.1a」に準拠しています。

## [節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し5秒後に節電モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	<b>書</b> 月
節電モード	節電モード	橙

# 2-8 モニターの電源を自動的にオフにする [オフタイマー]

モニターの省電力モードが一定時間続いた時に、モニターの電源を自動 的にオフにする / しないの切り替えができます。

設定範囲: 無効、有効(0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1~5h)

- (1) 調整メニューの< PowerManager >メニューを選択し、● を押し ます。
- (2) < PowerManager >メニューで<オフタイマー>を選択し、● を 押します。
   <オフタイマー>設定画面が表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択します。
   「有効」を選択した場合は、 ④または ▶ でモニターの電源をオフ にする時間を選択します。
- (4) を押します。設定が完了します。

# 2 - 9 モニターの自動明るさ調整のオン / オ フを切り替える [Auto EcoView]

Auto EcoView (オートエコビュー)をオンにするとモニター正面のセン サーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを 調整します。

- (1) ③ を押します。< EcoView > 設定画面が表示されます。
- (2) ▲ または ▼ で「Auto EcoView」を選択します。( ⑧ でも選択できます。)
- (3) ◆ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択し、 を押します。 設定が完了します。

参考

Auto EcoView 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

# 2 - 10 離席時に省電力モードに移行する [EcoView Sense]

EcoView Sense(エコビューセンス)をオンにすると、モニター正面の センサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニター は自動的に省電力モードに移行し、画面を非表示にして消費電力を低減 します。再び人が近づくと、省電力モードから復帰して画面を表示しま す。EcoView Sense のセンサーの検知レベルは、ご使用の環境にあわせ て変更することができます。

# ● オン / オフを切り替える

- (1) (1) を押します。< EcoView > 設定画面が表示されます。
- (2) ▲ または ▼ で「EcoView Sense」を選択します。(③ でも選択できます。)

# ● 検知レベルを変更する

初期設定は「オート」です。意図したとおりに省電力モードに移行 しない場合は、以下の手順で検知レベルを変更します。

## 設定範囲:下表参照

検知レベル	検知範囲	詳細
オート	自動設定 (120cm	人の動きに合わせて検知範囲を設定しま
(初期設定)	以下)	す。設定された範囲から離れると、省電
		カモードに移行します。対象物の動きの
マニュアル1	自動設定 (90cm	有無が判別されるため、検知範囲内に椅
	以下)	子や壁などがあっても省電力モードに移
		行できます。
マニュアル 2	120cm 以下	検知範囲から離れると、省電力モードに
		移行します。「オート」または「マニュ
		アル 1」でご使用中に、離席していない
マニュアル 3	90cm 以下	にもかかわらず省電力モードに移行する
		ことが多い場合、この設定に変更するこ
		とをおすすめします。

- (1) 調整メニューの< PowerManager >メニューを選択し、● を押し ます。
- (2) < PowerManager >メニューで< EcoView Sense >を選択し、●
   を押します。
   < FooView Sense > 恐定両面がまニナわます

< EcoView Sense >設定画面が表示されます。

- (3) ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
   「マニュアル」を選択した場合は、④ または で1~3(センサーの検知レベル)を選択します。
- (4) を押します。設定が完了します。

 
 参考
 ・省電力モードへの移行時には、移 行をお知らせするアイコンが表示 されます。



# 参考

 ・調整メニューの向きを「縦置き」 に設定すると、EcoView Sense が オフになります(2-14「設置方向 を設定する」P28 参照)。ご使用 の際は、オンに設定してください。

# 2 - 11 省電力の度合いを示すインジケータの 表示 / 非表示を切り替える [EcoView Index]

EcoView Index(エコビューインデックス)をオンにすると、電源投入 時やブライトネス(明るさ)調整や FineContrast(ファインコントラス ト)モードの切り替え時などに、省電力の度合いを示すインジケータが 表示されるようになります。インジケータが右方向に点灯するにつれ、 省電力の度合いが高くなります。

(1) (1) を押します。< EcoView > 設定画面が表示されます。

- (2) ▲ または ▼ で「EcoView Index」を選択します。( ③ でも選択できます。)
- (3) ◆ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択し、 を押します。 設定が完了します。

# 2-12 表示サイズを切り替える

# ● 表示サイズを切り替える [拡大モード]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面いっぱいに拡大されますが、 <その他>の<拡大モード>機能を使用して表示サイズを切替えること ができます。

設定	機能
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・
(初期設定)	横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があ
	ります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・
	横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が
	表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。



- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<拡大モード>を選択し、●を押します。 <拡大モード>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「フルスクリーン」/「拡大」/「ノーマル」のいず れかを選択し、●を押します。
   設定が完了します。

## 注意点

 「拡大」、「ノーマル」を選択した 場合、すべての色階調を表示でき ないことがあります。

# ● 画像の非表示部分の明るさを変える[ボーダー]

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー(画像が表示されていない暗い部分)が表示されます。



- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<ボーダー>を選択し、 ●を押します。 <ボーダー>メニューが表示されます。
- (3) または で調整し、●を押します。
   調整が完了します。

# 2-13 調整メニューの表示を設定する

調整メニューの表示を変更する[メニューサイズ/メニューポジション/メニューオフタイマー/半透明]

メニューサイズ

調整メニューの表示サイズを変更できます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、●を押します。
- (3) <メニュー設定>メニューで<メニューサイズ>を選択し、● を押 します。

<メニューサイズ>メニューが表示されます。

(4) ▲ または ▼ で「ノーマル」または「拡大」を選択し、● を押し ます。

設定が完了します。

メニューポジション

調整メニューの表示位置を移動できます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 (●を押します。
- (2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、 ●を押します。
- (3) <メニュー設定>メニューで<メニューポジション>を選択し、●を押します。
  - <メニューポジション>メニューが表示されます。
- (4) / で位置を移動し、●を押します。
   設定が完了します。

**メニューオフタイマー** 調整メニューの表示時間を設定できます。 設定範囲:無効、有効(15、30、45、60s)

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、●を押します。
- (3) <メニュー設定>メニューで<メニューオフタイマー>を選択し、
   を押します。
   <メニューオフタイマー>メニューが表示されます。
- (4) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択します。
   「有効」を選択した場合は、 ◆ または ◆ でメニューの表示時間を 選択します。
- (5) を押します。設定が完了します。

#### 半透明

調整メニューの表示透明度が設定できます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<メニュー設定>を選択し、●を押します。
   (3) <メニュー設定>メニューで<半透明>を選択し、●を押します。
- (3) <>=\_1=設定>>=\_1=で<+透明>を選択し、●を押じより。 <半透明>メニューが表示されます。
- (4) (● または (▶) で調整し、 ●を押します。 設定が完了します。

# 2-14 設置方向を設定する

# 調整メニューの向きを設定する[設置方向]

モニターを縦型表示にした場合は、調整メニューの向きも変更することができます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ●を押します。
- (2) <その他>メニューで<設置方向>を選択し、●を押します。
   <設置方向>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「横置き」または「縦置き」を選択し、● を押します。

設定が完了します。

(4)「縦置き」を選択した場合は、モニタースクリーンを時計回りに 90° 回転します。

# 2-15 操作ボタンをロックする

調整 / 設定した状態を変更できないように、 
での調整 / 設定をロックします。

- (1) (1) (1) を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) (S) を押しながら (1)) を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するごとにロック / ロック解除が切り替わります。

#### 参考

 FineContrast (ファインコントラ スト)モード名、EcoView (エコ ビュー)メニューおよび EcoView Index (エコビューインデックス) の表示時間は変更できません。

#### 参考

 モニターを縦型表示するために は、縦型表示対応のグラフィック スボードが必要です。モニターを 縦型表示にした場合、ご使用のグ ラフィックスボードの設定を変更 する必要があります。詳細は、グ ラフィックスボードの取扱説明書 を参照してください。当社ホーム ページもあわせて参照してくださ い。(http://www.eizo.co.jp)

#### 注意点

 ケーブル類が正しく差し込まれて いるかご確認ください。

# 2-16 モニター情報を表示する [インフォメーション]

- 入力信号、解像度、機種名などを表示します。
   インフォメーション 1/3 …… 入力信号、解像度、水平・垂直周波数
   インフォメーション 2/3 …… DDC/CI 有効 / 無効
   インフォメーション 3/3 …… 機種名、製造番号、使用時間
- (1) 調整メニューの<インフォメーション>メニューを選択し、●を押します。
   <インフォメーション>メニューが表示されます。
- (2) 続けて ()を押して、設定状況などを確認します。

# 2 - 17 DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える

DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替えます。

- (1) (1) を押して、モニターの電源を切ります。
- (2) <<br />
  を押しながら、<br />
  (2) <br />
  を押してモニターの電源を入れます。<br />
  操作を実行するごとに有効 / 無効が切り替わります。

# 2 - 18 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える [電源ランプ]

画面表示時の電源ランプ(青)の点灯 / 消灯の切り替えができます。

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 (●を押します。
- (2) <その他>メニューで<電源ランプ>を選択し、●を押します。<電源ランプ>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択し、●を押します。
   設定が完了します。

# 2-19 表示言語を設定する [言語選択]

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

# 選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン 語 / 中国語(簡体)/ 中国語(繁体)/ 日本語

- (1) 調整メニューの<言語選択>メニューを選択し、 ●を押します。 <言語選択>メニューが表示されます。
- (2) ▲ / ▼ / / で言語を選択し、●を押します。
   設定が完了します。

## 参考

 工場での検査などのため、購入時 に使用時間が「0」ではない場合 があります。

# 参考

DDC/CIの有効 / 無効の状態は、
 <インフォメーション>で確認することができます。

# 2 - 20 EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える 本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。 (1) ④ を押して、モニターの電源を切ります。 (2) ● を押しながら ④ を押してモニターの電源を入れます。 操作を実行するごとに表示 / 非表示が切り替わります。 2 - 21 お買い上げ時の設定に戻す [リセット] リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すリセットの2 種類があります。 カラー調整値をリセットする 現在選択している FineContrast (ファインコントラスト) モードのカラー調整値のみを初期状態 (工場出荷状態) に戻します。 (1) 調整メニューの<カラー>メニューを選択し、●を押します。 (2) < カラースメニューを選択し、●を押します。</li>

- (2) <カラー>メニューで<リセット>を選択し、●を押します。<リセット>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、 ●を押します。
   カラー調整値が初期状態になります。

# ● すべての設定内容をリセットする

- すべての設定内容を初期状態(工場出荷状態)に戻します。
- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ④を押します。
- (2) <その他>メニューで<リセット>を選択し、 ●を押します。 <リセット>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、 ●を押します。
   すべての設定内容が初期状態になります。

# 注意点

 リセット実行後は、リセット前の 状態に戻すことはできません。

# 参考

 初期値については、巻末をご覧く ださい(「主な初期設定(工場出 荷設定)値」P44参照)。

# 第3章 接続する

# 3-1 2台以上のコンピュータを接続する

本機は、背面の D-Sub15 ピン(ミニ)、DVI-D、DisplayPort コネクタに 2 台以上のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。 接続例



# ● 入力信号を切り替える

(S)を押すたびに入力信号が切り替わります。画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



# ● 入力信号の切替方法を設定する [入力信号]

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的 に判別して画面を表示します。 コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入る と自動的に、他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作 ボタンの <b>⑤</b> で表示させたい入力信号を選択してくだ さい。

# [設定方法]

- (1) 調整メニューの<その他>メニューを選択し、 ④を押します。
- (2) <その他>メニューで<入力信号>を選択し、●を押します。
   <入力信号>メニューが表示されます。
- (3) ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択し、● を 押します。

設定が完了します。

参考

 「オート」が選択されている場合 は、全てのコンピュータが省電力 モードに入っている場合のみモニ ターの省電力機能が動作します。

# 第4章 こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- ・ 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- ・画面に関する症状(デジタル信号の場合)→項目3~8を参照してください。
- ・画面に関する症状(アナログ信号の場合)→項目3~11を参照してください。
- その他の症状 → 項目 12 ~ 17 を参照してください。

症状	原因と対処方法			
<ol> <li><b>1. 画面が表示されない</b></li> <li>・電源ランプが点灯しない</li> </ol>	<ul> <li>電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、</li> <li>数分後にもう一度電源を入れてみてください。</li> </ul>			
	<ul> <li>・ 主電源スイッチをオンにしてください。</li> <li>・ (の)を押してください。</li> </ul>			
	<ul> <li>・ [ブライトネス]、[コントラスト]、[ゲイン]の各調整 値を上げてみてください(P20、P22参照)。</li> </ul>			
<ul> <li>・ 電源ランプが点灯: 橙色</li> </ul>	<ul> <li>(S)で入力信号を切り替えてみてください。</li> <li>マウス、キーボードを操作してみてください。</li> <li>コンピュータの電源は入っていますか。</li> <li>EcoView Sense をオンにしている場合、省電力モードに</li> </ul>			
<ul> <li>・ 電源ランプが点滅:橙色</li> </ul>	移行している可能性があります。モニターに近づいてみ てください。 ・ DisplayPort 接続している機器に問題があります。問題 を解決し、モニターの電源を入れなおしてみてください。			
	詳しくは DisplayPort 接続している機器の取扱説明書を 参照してください。			
2. 以下のようなメッセージが表示される ・信号が入力されていない場合の表示です。	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正し く入力されないときに表示されます。 ・コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出力			
例: 入力信号チェック	されないため、左のような画面が表示されることがあります。			
D – S U B 信号なし	<ul> <li>・信号ケーブルは正しく接続されていますか。</li> <li>・ (S) で入力信号を切り替えてみてください。</li> </ul>			
<ul> <li>入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です(範囲外の周波数は赤色で表示されます)。例:</li> <li>入力信号エラー</li> <li>DVI</li> <li>fD:162.8MHz</li> <li>fH:75.4kHz</li> <li>fV:60.4Hz</li> </ul>	<ul> <li>コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直 周波数になっていますか。(P10 参照)</li> <li>コンピュータを再起動してみてください。</li> <li>グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な 表示モードに変更してください。詳しくはグラフィック スボードの取扱説明書を参照してください。</li> <li>fD:ドットクロック (デジタル信号入力時のみ表示されます)</li> <li>fH:水平周波数</li> </ul>			
	<ul> <li>IV・亜旦向波致</li> <li>「ブライトネス]、「コントラスト」を調整してください (LCD モニターのバックライトには、寿命があります。 画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、 エイゾーサポートにご相談ください)。</li> </ul>			
4. 文字がぼやけて見える	<ul> <li>コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直 周波数になっていますか。(P10 参照)</li> <li>[スムージング]で調整してみてください(P18 参照)。</li> </ul>			

	症状	原因と対処方法		
5.	残像が現れる	•	この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間 使用することを極力避けることをおすすめします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスク リーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してくだ さい。	
6.	画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しな いドットが残る	•	これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故 障ではありません。	
7.	画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消 えない	•	画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてくだ さい。症状が解消されることがあります。	
8.	画面にノイズがあらわれる	•	[オーバードライブ]の設定を「オフ」にしてみてくだ さい(P22 参照)。 HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに	
9.	画像がずれている	•	表示されないことかあります。 [ポジション] で画像の位置を合わせてください	
		•	(P18 参照)。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位 置を変える機能があれば、その機能を使用して調整して ください。	
10.	画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	•	[クロック]で調整してみてください(P17 参照)。	
11.	画面全体がちらつく、にじむように見える	•	[フェーズ]で調整してみてください(P17 参照)。	
12.	調整メニューにおいて、<ピクチャー調整>の<ス ルージング>アイコンが選択できたい	•	以下の表示解像度や設定の場合は、スムージングアイコ	
			- 解像度が 1920 × 1080 の場合 - <拡大モード>で「ノーマル」を選択している場合	
13.	調整メニューが表示できない	•	操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてく ださい(P28 参照)。	
14.	FineContrast(ファインコントラスト)モード名が表 示できない	•	調整メニューが起動していませんか。(P11 参照)。	
15.	自動調整機能が動作しない	•	自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合が あります。	
16.	音声が出ない	•	<ul> <li>ミニジャックケーブルは正しく差し込まれていますか。</li> <li>音量が「0」になっていませんか。</li> <li>コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの</li> <li>設定を確認してください。</li> <li>DisplayPort 入力時は [音源]の設定を確認してみてください(P23 参照)。</li> </ul>	

症	状	原因と対処方法
17.(EcoView Sense 使用時)		<ul> <li>モニターの設置環境を確認してください。以下の環境で</li> </ul>
離席しても画面が消えない。	モニターに近づいても画	は正しく動作しないことがあります。
面が表示されない。		- センサーの正面に、光を反射するもの(鏡やガラス面
		など)がありませんか。
		- 直射日光が当たる場所にモニターを設置していません
		$p_{\circ}$
		- モニターの周辺に赤外線を出す機器がありませんか。
		- センサーの前に障害物がありませんか。
		<ul> <li>センサーに汚れがついていませんか。汚れがある場合は、</li> </ul>
		柔らかい布で取り除いてください。
		<ul> <li>モニターの正面に座っていますか。センサーから垂直に</li> </ul>
		出た赤外線によって人を検知します。
		• オフタイマー機能が有効になっていませんか。有効にし
		ていると、設定した時間が経過すると自動的にモニター
		の電源が切れるため、モニターに近づいても画面が表示
		されません。(也)を押して電源を入れてください(P24
		参照)。

# 第5章 ご参考に

# 5-1 オプションアーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム(また はオプションスタンド)に取り付けることが可能になります。対応して いるオプションアーム(またはオプションスタンド)については、当社 のホームページをご覧ください。

http://www.eizo.co.jp

そニターを縦型表示でご使用の場合は、横型表示にします。

2 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。



## 注意点

- 取り付けの際は、アームまたはス タンドの取扱説明書の指示に従っ てください。
- ・他社製のアームまたはスタンドを 使用する場合は、以下の点をアー ムまたはスタンドメーカーにご確 認の上、VESA 規格準拠のものを お選びください。取付には本機に 付属の M4 × 12mm ネジをご使用 ください。
  - 取付部のネジ穴間隔: 100mm × 100mm
  - プレート部の厚み:2.6mm
  - 許容質量:モニター本体の質量 (スタンドなし)とケーブルなど の装着物の総質量に耐えられる こと
- アームまたはスタンドを使用する 場合は、以下の範囲(チルト角) で使用してください。
- 上 45° 下 45°
- (横表示時、および時計回り 90 <sup>°</sup> に縦表示時)
- ケーブル類は、アームを取り付け た後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。



# 5-2 FlexStand(フレックススタンド)取付 方法

いったん取り外した FlexStand(フレックススタンド)は、以下の手順 で再度モニター本体に取り付けることができます。





# 5-4 TriStand (トライスタンド) 収納方法

TriStand(トライスタンド)仕様のモニターを再梱包する場合は、以下 の手順でスタンドベースを取り外し、スタンドを収納してください。

- 7 ケーブルホルダーを開けます。
   2 モニター本体を最下部まで下げて、スタンドにピンを差し込みます。
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・</l
- **3** 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。











# 5-5 仕様

# EV2313W-B

液晶パネル		58cm(23.0)型カラー TFT、アンチグレア、ハードコーティング 視野角:左右 170°、上下 160° (CR ≧ 10)			
ドットピッチ		0.2655mm			
水平走查周波数		アナログ信号入力時:31 ~ 81kHz デジタル信号(DVI-D/DisplayPort)入力時:31 ~ 68kHz			
垂直走査	周波数	アナログ信号入力時:55 ~ 76Hz(ノンインターレース) デジタル信号(DVI-D/DisplayPort)入力時:59 ~ 61Hz(ノンインターレース) (VGA TEXT 時:69 ~ 71Hz)			
解像度		1920 ドット× 1080 ライン			
ドットク	ロック(最大)	アナログ信号入力時:148.5MHz デジタル信号(DVI-D/DisplayPort)入力時:148.5MHz			
最大表示	色	約 1677 万色(約 10 億 6433 万色中/ 10bit LUT)			
表示サイ	ズ(水平×垂直)	509.76mm × 286.74mm			
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.57A			
消費電力	画面表示時	35W 以下(スピーカー動作時) 32W 以下(スピーカー非動作時)			
	省電力モード時	0.9W 以下(D-Sub 1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時、 [EcoView Sense]:「オフ」設定時)			
	電源ボタンオフ時	0.1W以下(ステレオミニジャックケーブル非接続時)			
	主電源スイッチオフ時	0W			
信号入力	コネクタ	D-Sub15 ピン(ミニ)			
		DVI-D コネクタ(HDCP 対応)			
		DisplayPort コネクタ(Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応、8bit 対応) 音声信号対応フォーマット - 2ch リニア PCM (32kHz / 44.1kHz / 48kHz /88.2kHz / 96kHz / 176.4kHz/ 192kHz)			
アナログ		 セパレート、TTL、正 / 負極性			
アナログ		アナログ、正極性(0.7Vp-p/75 Ω)			
デジタル		TMDS (Single Link)			
ビデオ信	号メモリー	アナログ信号 45 種 デジタル信号(DVI-D) 10 種 デジタル信号(DisplayPort) 10 種			
音声出力		スピーカー出力:0.35W(8 Ω、THD ≦ 10%) ヘッドホン出力:2mW + 2mW			
ライン入	カ	- 入力インピーダンス:48k Ω(typ.) 入力レベル:1.0Vrms(最大)			
プラグ&プレイ機能		アナログ / デジタル信号(DVI-D)入力時:VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル信号(DisplayPort)入力時:VESA DisplayPort/EDID structure 1.4			
寸法 本体(FlexStand)		547mm(幅)× 517.8 ~ 346.5mm(高さ)× 236 ~ 221mm(奥行き)			
本体(TriStand)		547mm(幅)× 442 ~ 382mm(高さ)× 200mm(奥行き)			
本体(スタンドなし)		- 547mm(幅)× 332mm(高さ)× 44mm(奥行き)			
質量	本体(FlexStand)	約 6.4kg			
	本体(TriStand)	約 4.8kg			
	本体(スタンドなし)	約 3.6kg			

可動範囲	FlexStand (フレックススタンド)	チルト角度:上 30°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:225mm(チルト角度 0°時は 171.3 mm) ローテーション:90°(時計回り)	
	TriStand (トライスタンド)	チルト角度:上 25°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:60mm	
環境条件	温度	動作温度範囲:5℃~ 35℃ 輸送および保存温度範囲:-20℃~ 60℃	
	湿度	動作湿度範囲:20% ~ 80% R.H.(非結露状態) 輸送および保存湿度範囲:10% ~ 90% R.H.(非結露状態)	
	気圧	動作気圧範囲:700hPa ~ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲:200hPa ~ 1060hPa	

# EV2333W

液晶パネル		58cm(23.0)型カラー TFT、アンチグレア、ハードコーティング 視野角:左右 178° 、上下 178° (CR ≧ 10)		
ドットピッチ		0.2655mm		
水平走查周	周波数	アナログ信号入力時:31 ~ 81kHz デジタル信号(DVI-D/DisplayPort)入力時:31 ~ 68kHz		
垂直走查周	周波数	アナログ信号入力時:55 ~ 76Hz(ノンインターレース) デジタル信号(DVI-D/DisplayPort)入力時:59 ~ 61Hz(ノンインターレース) (VGA TEXT 時:69 ~ 71Hz)		
解像度		1920 ドット× 1080 ライン		
ドットクロ	コック(最大)	アナログ信号入力時:148.5MHz デジタル信号(DVI-D/DisplayPort)入力時:148.5MHz		
最大表示的	<u>五</u>	約 1677 万色(約 10 億 6433 万色中/ 10bit LUT)		
表示サイス	ズ(水平×垂直)	509.76mm × 286.74mm		
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.75A		
消費電力 画面表示時		45W 以下(スピーカー動作時) 42W 以下(スピーカー非動作時)		
	省電力モード時	1W 以下(D-Sub 1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時、 [EcoView Sense]:「オフ」設定時)		
	電源ボタンオフ時	0.1W 以下(ステレオミニジャックケーブル非接続時)		
	主電源スイッチオフ時	OW		
信号入力:	コネクタ	D-Sub15 ピン(ミニ)		
		DVI-D コネクタ(HDCP 対応)		
		DisplayPort コネクタ(Standard V1.1a 準拠、HDCP 対応、8bit 対応) 音声信号対応フォーマット - 2ch リニア PCM (32kHz / 44.1kHz / 48kHz /88.2kHz / 96kHz / 176.4kHz/ 192kHz)		
アナログ信	言号 入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性		
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性(0.7Vp-p/75 Ω)		
デジタル信号(DVI-D)伝送方式		TMDS(Single Link)		
ビデオ信号	号メモリー	アナログ信号 45 種 デジタル信号(DVI-D) 10 種 デジタル信号(DisplayPort) 10 種		

音声出力		スピーカー出力:0.35W (8 Ω、THD ≦ 10%) ヘッドホン出力:2mW + 2mW			
ライン入力		入力インピーダンス:48k Ω(typ.) 入力レベル:1.0Vrms(最大)			
プラグ&プレイ機能		アナログ / デジタル信号(DVI-D)入力時:VESA DDC 2B/EDID structure 1.3 デジタル信号(DisplayPort)入力時:VESA DisplayPort/EDID structure 1.4			
寸法	本体(FlexStand)	547mm(幅)× 517.8 ~ 346.5mm(高さ)× 236 ~ 221mm(奥行き)			
	本体(TriStand)	547mm(幅)× 442 ~ 382mm(高さ)× 200mm(奥行き)			
	本体(スタンドなし)	547mm(幅)× 332mm(高さ)× 47.5mm(奥行き)			
質量	本体(FlexStand)	約 7.1kg			
	本体(TriStand)	約 5.5kg			
	本体(スタンドなし)	約 4.3kg			
可動範囲 FlexStand (フレックススタンド)		チルト角度:上 30°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:225mm(チルト角度 0°時は 171.3 mm) ローテーション:90°(時計回り)			
	TriStand (トライスタンド)	チルト角度:上 25°下 0° スィーベル角度:右 172°左 172° 昇降:60mm			
環境条件	温度	動作温度範囲:5℃~ 35℃ 輸送および保存温度範囲:-20℃~ 60℃			
湿度		動作湿度範囲:20% ~ 80% R.H.(非結露状態) 輸送および保存湿度範囲:10% ~ 80% R.H.(非結露状態)			
	気圧	動作気圧範囲:700hPa ~ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲:200hPa ~ 1060hPa			

# 主な初期設定(工場出荷設定)値

Auto EcoView		オン		
EcoView Sense		オン		
EcoView Index		オン		
スムージング		3		
FineContrast (ファインコント	·ラスト) モード	Custom		
PowerManager - パワーセーフ	ブ	オン		
入力信号		マニュアル		
拡大モード		フルスクリーン		
オフタイマー		無効		
メニュー設定 メニューサイズ		ノーマル		
メニューオフタイマー		45 秒		
言語選択		日本語		

# 外観寸法 EV2313W-B

• FlexStand (フレックススタンド)





• TriStand(トライスタンド)

465(18.3) (CL) 1)++ (





単位:mm(インチ)

単位:mm (インチ)

## EV2333W

• FlexStand (フレックススタンド)

465(18.3) (8(1)5(2) (8(0)52) (8(0)52) (8(0)52) (8(0)52)



• TriStand (トライスタンド)







単位:mm (インチ)

# 入力信号接続

・DVI-D コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	9	T.M.D.S. Data1-	17	T.M.D.S. Data0-
2	T.M.D.S. Data 2+	10	T.M.D.S. Data1+	18	T.M.D.S. Data0+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
4	NC*	12	NC*	20	NC*
5	NC*	13	NC*	21	NC*
6	DDC Clock (SCL)	14	+5V Power	22	T.M.D.S. Clock shield
7	DDC Data (SDA)	15	Ground (return for +5V, Hsync, and Vsync)	23	T.M.D.S. Clock+
8	NC*	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S. Clock-

(NC\*: No Connection)

• D-Sub15 (ミニ) コネクタ



ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号
1	Red video	6	Red video ground	11	NC*
2	Green video	7	Green video ground	12	Data (SDA)
3	Blue video	8	Blue video ground	13	H.Sync
4	NC*	9	NC*	14	V.Sync
5	Ground	10	Ground	15	Clock (SCL)

(NC\*: No Connection)

• DisplayPort コネクタ



ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号
1	ML Lane3-	8	Ground	15	AUX CH+
2	Ground	9	ML Lane1+	16	Ground
3	ML Lane3+	10	ML Lane0-	17	AUX CH-
4	ML Lane2-	11	Ground	18	Hot Plug Detect
5	Ground	12	ML Lane0+	19	Return
6	ML Lane2+	13	CONFIG1	20	DP PWR
7	ML Lane1-	14	CONFIG2		

# 別売オプション品

クリーニングキット	EIZO 「ScreenCleaner」
信号ケーブル (DisplayPort)	PP200

オプション品に関する最新情報は、当社のホームページをご覧ください。 http://www.eizo.co.jp

# 5-6 用語集

#### 色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K:ケルビン(Kelvin)で表します。炎の温度と同様に、 画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。 5000K:やや赤みがかった白色 6500K:暖色で紙色に近い白色 9300K:やや青みがかった白色

#### オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液 晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、 残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

#### 解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機 種の場合は横 1920 個、縦 1080 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1080 の 解像度であれば、画像は画面いっぱい(1 対 1)に表示されます。

#### ガンマ

ー般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と 呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなり ます。

#### クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、 使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要がありま す。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に 縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通 して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み 合わせによって構成されます。3色のフィルターに通す光の強さ(量)をそれぞれ調整することによって、 色調を変化させることができます。

#### フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを 調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことを おすすめします。

#### レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前に はレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

#### DDC/CI (Display Data Channel / Command Interface)

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための 国際規格です。

#### **DisplayPort**

VESA によって策定された、デジタルディスプレイ装置のためのデジタルインターフェースの規格です。 DisplayPort では RGB それぞれ最大 16bit の映像信号を送信でき、また音声信号も送信することができま す。(本機では映像信号は 8bit のみ対応)

#### **DVI** (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに 伝送できます。 伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタ と、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

#### DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON(オペレーションモード)と Active Off(省電力モード)が必須となっています。

#### HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。 DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコ ンテンツを安全に伝送できます。 出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっていま す。

#### sRGB (Standard RGB)

周辺機器間(モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど)の「色再現性、色空間」を統一する目 的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネット の送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

#### TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

#### **VESA DPM** (Video Electronics Standards Association - Display Power Management)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ(グラフィックスボード)側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

# 5-7 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです(ア ナログ信号のみ)。

	L'ar L		周波数	
表示モード			水平:kHz	極性
			垂直:Hz	
	25 2 MU-	水平	31.47	負
VGA 040 × 480@00Hz		垂直	59.94	負
VGA TEXT 720 X 400@70H7	283 MH7	水平	31.47	負
	20.3 101112	垂直	70.09	Ē
VESA 640 × 480@73Hz	315 MHz	水平	37.86	負
VES/(010 X 100@/3112	51.510112	垂直	72.81	負
VFSA 640 $\times$ 480@75Hz	31 5 MHz	水平	37.50	負
	51.51.112		75.00	
VESA 800 $\times$ 600@56Hz	36.0 MHz	水平	35.16	<u> </u>
		垂直	56.25	止
VESA 800 $\times$ 600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	止
		里自	60.32	
VESA 800 × 600@72Hz	50.0 MHz	水平	48.08	
		一里但	/2.19	
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	水平 玉声	46.88	
	1	世世	/5.00	上
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.30	日
		一世但	60.00	日
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0 MHz	<u>水平</u> 五古	<u> </u>	
			70.07 60.02	
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8 MHz	<u>小</u> 一	75.03	ᇤ
			67.50	
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0 MHz		75.00	
		<u></u>	45.00	 正
CEA-861 1280 $\times$ 720@60Hz	74.3 MHz	垂直	60.00	
		 水平	60.00	
VESA 1280 $\times$ 960@60Hz	108.0 MHz	垂直	60.00	Ē
	100.0.141		63.98	Ē
VESA 1280 × 1024@60HZ	108.0 MHZ	垂直	60.02	正
		水平	79.98	Ē
VESA 1280 × 1024@75HZ		垂直	75.03	Ē
	146 2 MU-	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT RB	1100 MH-	水平	64.67	正
1680 × 1050@60Hz		垂直	59.88	負
CEA 861 1020 × 1000@604-	1/Q 5 MU-	水平	67.50	正
		垂直	60.00	正

#### 注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の 信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなって ください。ただし、調整をおこなって ても画面を正しく表示できない場 合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

# 第6章 アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート の拠点一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

#### 保証書について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、 大切に保管してください。
- ・当社では、この製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

# 修理を依頼されるとき

- ・保証期間中の場合 保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、また はエイゾーサポートにご連絡ください。
- ・保証期間を過ぎている場合 お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲(サービス内容)、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

#### 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- ・お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- ・お買い上げ年月日・販売店名
- ・モデル名・製造番号(製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例)S/N 12345678)
- ・使用環境(コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度等)
- ・故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

#### 修理について

修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

# 製品回収・リサイクルシステムについて

•本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出しください。

\*なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。(http://www.eizo.co.jp)

•法人のお客様 本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担で お引取りいたします。詳細については下記までお問合せください。

-					
	イッパー	・サポー	トマッ	トワーク株式会社	
<u> </u>		2 3	レインノ		

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369(専用)	076-274-2416
月曜日~金曜日 (祝日及び当社休日を除く) 9:30~17:30	24 時間受付 但し、回答は営業時間帯 (電話受付時間帯と同じ)

# ・個人のお客様 PC リサイクルマークの無償提供について

本製品は、PC リサイクル対象製品です。

当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様に PC リサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、下記の Web サイトからお申し込みください。 マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

**情報機器リサイクルセンター ホームページ:http://www.pc-eco.jp/** ※「PC リサイクルマーク申込」からお入りください。 (回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。)

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されているモデル名と製造番号が必要となります。

# PC リサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークがついた当社製品の回収を情報機器リ サイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担 いただくことなく回収・再資源化いたします。

#### お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター 電話:03-3455-6107 月曜日~金曜日(祝日及び年末年始を除く) 9:00 ~ 17:00

# <u>关于电子信息产品污染控制标识</u>



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」,适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项,在自制造日起算的年限内,不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

#### •有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素						
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚	
	(Pb)	(Hg)	(Cd)	(Cr(VI))	( <b>PBB</b> )	(PBDE)	
印刷电路板	×	0	0	0	0	0	
机箱	0	0	0	0	0	0	
液晶显示器	×	0	0	0	0	0	
其他	×	0	0	0	0	0	
〇:表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。							
×:表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。							
(企业可在此处,根据实际情況对上表中打"×"的技术原因进行进一步说明)							

# <u>关于电子信息产品污染控制标识</u>



本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」,适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项,在自制造日起算的年限内,不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

#### •有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素						
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚	
	(Pb)	(Hg)	(Cd)	(Cr (VI))	( <b>PBB</b> )	(PBDE)	
印刷电路板	×	0	0	0	0	0	
机箱	0	0	0	0	0	0	
液晶显示器	×	×	0	0	0	0	
其他	×	0	0	0	0	0	
〇:表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。							
×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。							
(企业可在此处,根据实际情況对上表中打"×"的技术原因进行进一步说明)							



**株式会社ナナオ** 〒924-8566 石川県白山市下柏野町 153 番地

http://www.eizo.co.jp